

第19回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: 日本の次世代リーダー養成塾

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(報道関係者連絡先: 090-1113-3914)

kato@leaderjuku.jp

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月26日~8月8日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-35-7014/7015

FAX 0940-35-1600

日本全国の高校生が「アジア・ハイスクール・サミット」を開催

「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」

地球から戦争をなくすことができるか

2週間かけてクラスごとに先人が成し得なかった国際的な平和構築への具体策を討議

アジア・欧州から九州・山口に留学中のA F S交換高校留学生とも議論

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の十倉雅和会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象の2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004年に開塾、今年で19回目を迎えます。PCR検査の実施など感染防止策を講じて、7月26日(火)から8月8日(月)まで、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で実施します。

【全国・海外の高校生139人が参加します】

書類選考と面接で選抜された全国19都道府県と海外(アメリカ)から集う日本の高校生139人が2週間寝食を共にします。

卒塾生は今年の参加高校生が卒塾すると3254人となります。日本や海外の大学や大学院に進学した後に、社会人として外交官、国家公務員、医師、教師、起業家、金融機関や商社、製造業などの企業、国際機関や世界各地でNGOを立ち上げて、社会に貢献できる人財として活躍しています。

【一流講師の講義とアジア・ハイスクール・サミット】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。また、2週間かけて毎日、クラス別にプロジェクト型取り組み「アジア・ハイスクール・サミット」を行います。今年のテーマは「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」。ロシアのウクライナ侵攻やミャンマーなど世界各地で内戦が深刻化している現状を踏まえ、高校生らしい奇想天外な発想と徹底的な議論を通じて、国際的な平和構築に向けた具体的な方策を導き出します。

その結果を8月7日(日)午前10時半から97歳のマレーシアのマハティール元首相の前で発表し、その後、マハティール元首相に「戦争はなくせるか一次世代が果たす平和への貢献」と題して1時間講義をしていただき、質疑応答をします。

この他期間中、関連講義として明石康・元国連事務次長、村上大樹・国境なき医師団外科医、佐橋亮・東京大学東洋文化研究所准教授らが講義、また、ウィズコロナの考え方をいち早く日本国内に打ち立てた山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授が講義します。経済人、学者、知事、芸術家ら日本を代表する27人の講師が講義をします。(講師一覧は別紙)

【AFS 高校留学生交流】

8月5日(金)午後4時から6時まで、全世界の高校生を対象とした交換留学団体(公財)AFS日本協会にて約1年間、日本の高校で学んでいる高校留学生たちとディスカッションをします。

参加留学生は、今年6月に来日して九州・山口地区に配属された日本政府奨学金「アジア高校生架け橋プロジェクト」アジア13カ国・地域(インド、インドネシア、韓国、カンボジア、スリランカ、タイ、トルコ、フィリピン、ブータン、ベトナム、香港、マレーシア、ミャンマー)からと、アメリカ、オーストリア、ドイツからの留学生合わせて25人です。また、「アジア架け橋生」として2020年に来日し、21年2月に起こったクーデターで3月に帰国できなくなり、そのまま1年高校留学が延長され、今春から立命館アジア太平洋大学(APU)に進学したミャンマー生5人も参加します。

クラスごとに塾生と「アジア・ハイスクール・サミット」で議論している戦争と平和の問題をディスカッションします。留学生には各国や地域の現状も話してもらいます。

なお留学生は、8月7日(日)のマハティール元首相の講義までリーダー塾に参加します。

【フィールドトリップ】

* 佐賀県立名護屋城博物館を見学(7月31日)

佐賀県立名護屋城博物館では、武谷和彦・同博物館学芸課長に「肥前名護屋城と名護屋城博物館」と題して講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学びます。

関連したテーマの講師として、映画プロデューサーの李鳳宇氏が「映画で日本の将来を考えよう」を、薩摩焼十五代沈壽官氏が、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。

* 宗像大社見学(8月2日)

2017年7月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮(総社)を訪れ、神宝館で世界遺産である沖ノ島で発掘された国宝(8万点の一部)などを見学します。

* 北九州市で(株)安川電機と北九州市環境ミュージアムを見学(8月2日)

安川電機で世界最先端のロボットの製造現場などを見学し、津田純嗣・同社特別顧問が「日本の製造業の歴史と未来」について講義をします。

北九州市地球環境ミュージアムでは、北九州市の公害克服の歴史から環境への取り組みを見学し、網岡健司・八幡東田まちづくり連絡協議会会長が講義をします。

【報道に関する連絡先】

日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号までお願いします。
090-1113-3914です。

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師・講義タイトル
3. カリキュラム表
4. アジア・ハイスクール・サミット
5. 塾生概要
6. 塾生学校一覧
7. 役員等名簿

第19回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：十倉雅和／一般社団法人日本経済団体連合会会長

2 開催日程

2022年7月26日(火)～8月8日(月)

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は7月30日（土）～8月2日（火）の3泊4日で宿泊

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 139名

内 訳	参画道・県・市推薦枠 (北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、沖縄県うるま市)	109名
	全国からの一般公募枠	30名

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

- **教養系**（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。

- **ビジネス系**（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。

- **国際系**（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。

- **人間学**（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

佐賀県立名護屋城博物館で日本列島と朝鮮半島間の歴史を学びます。

宗像大社神宝館で世界遺産である沖ノ島で発掘された国宝（8万点の一部）などを見学

株式会社安川電機で世界最先端のロボットの製造現場などを見学

北九州市地球環境ミュージアムで北九州市の公害克服の歴史から環境への取り組みを見学

日本の次世代リーダー養成塾講師一覧とタイトル

(五十音順)

1. 明石康／元国連事務次長、(公財)国立京都国際会館理事長
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」
“Japan in the world—towards a more open, dynamic country”
2. 葦津敬之／宗像大社宮司
「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」
3. 麻生渡／(一財)九州オープンイノベーションセンター最高顧問、元全国知事会会長
対談「混沌とした時代に求められる次世代リーダー像とは」
4. 網岡健司／八幡東田まちづくり連絡協議会会長、NPO 法人里山を考える会理事
「世界進化遺産 八幡東田ものがたり」
5. 市川加奈／Relight(株)代表取締役社長
「日本の貧困問題から考える、誰一人取り残さない社会のつくりかた」
6. 柿田富美枝／(一財)長崎原爆被災者協議会事務局長
「被ばく2世からのメッセージ」
7. 笠谷和比古／国際日本文化研究センター名誉教授
「戦国時代と平和共同体」
8. 川勝平太／静岡県知事
「三大『国策』を問う—首都移転・リニア・原発—」
9. 小手川強二／フンドーキン醤油(株)代表取締役社長
「発酵食品が繋ぐ国際化」
10. 榎原英資／(一財)インド経済研究所理事長、元財務省財務官
対談「混沌とした時代に求められる次世代リーダー像とは」
11. 佐々木久美子／(株)グルーヴノーツ代表取締役会長
「高校生が知っておくべきテクノロジーのインパクト」
12. 佐橋亮／東京大学東洋文化研究所准教授
「世界の人々の平和と繁栄をどうすれば実現できるのか？」
13. 滝久雄／(株)ぐるなび取締役会長・創業者、(株)NKB取締役会長・創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
14. 武谷和彦／佐賀県立名護屋城博物館学芸課長
「肥前名護屋城と名護屋城博物館」

15. 沈壽官／薩摩焼 15 代
「伝統を守り現代を表現する」
16. 津田純嗣／(株)安川電機特別顧問
「日本の製造業の歴史と未来」
17. マハティール・モハマド／マレーシア元首相
「戦争はなくせるか一次世代が果たす平和への貢献」
“Can War be Abolished? A New Milestone for Peacemaking
-How future Generation can contribute”
18. 南野森／九州大学法学部教授
「憲法と平和を考えるために」
19. 宮川眞喜雄／前内閣国家安全保障局国家安全保障参与
「歴史を読み。科学を学べ。危機を予知し、皆を率いて対処せよ。
日本のために、アジアのために」
20. 村岡浩司／(株)一平ホールディングス代表取締役社長
「ローカルの新しい価値を生み出そう～九州パンケーキの挑戦～」
21. 村上大樹／国境なき医師団 (MSF: Medecins Sans Frontieres) 外科医師
「国際医療・人道援助活動の現実と課題」
22. 村木厚子／津田塾大学客員教授、元厚生労働省事務次官
「事件から学んだこと～組織の在り方・人の生き方～」
23. 室伏きみ子／お茶の水女子大学名誉教授、同大前学長 (オンライン講義)
「人々の心身の健康と幸せを目指す研究・開発と研究者の役割」
24. 山口祥義／佐賀県知事
「未来をつくる君たちへ」
25. 山本太郎／長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授
「With コロナ～新たな社会の見取り図」
26. 李鳳宇／映画プロデューサー、(株)マンシーズエンターテインメント代表、
日本大学芸術学部映画学科講師
「映画で日本の将来を考えよう」
27. 加藤暁子／日本の次世代リーダー養成塾専務理事、(公財)AFS 日本協会理事長
「“Warm Heart Cool Head” で激動の時代を切り拓くリーダーに」



「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」

(Can War be Abolished? —A New Milestone for Peacemaking)

リーダー塾では、2週間を通して、高校生が議論する「アジア・ハイスクール・サミット」というプロジェクト型の取り組みを行っています。塾期間を通して、決まったテーマのもとで塾生同士、徹底的に議論をして政策を打ち出します。解決することが難しい社会課題に挑戦して、やがて近い将来、リーダーになったときにどう課題に取り組み、解決できるか高校生のうちから経験するのが狙いです。

今年のテーマは「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」です。今年2月、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、国際情勢の緊張が一気に高まりました。核兵器の使用すらちらつかせるプーチン政権の姿勢に対し、国連総会では非難決議が採択され、日本を含め各国がロシアに対する制裁を強めていきました。また、反戦・平和を求める運動が、世界各地で展開されています。

ウクライナだけではなく、ミャンマーは昨年2月のクーデターの後、弾圧によりすでに1700人以上が命を落としています。このほか、シリア、アフガニスタン、イエメン、リビアなど世界各地では内戦が繰り返され、青少年や子どもまでもが銃を取って戦っています。内戦はなかなか事実が明るみに出ないので悲惨です。

日本は戦後77年、平和を享受してきましたが、唯一の被爆国となって多くの犠牲者が出たことを知らない若い人たちも出てきました。日本人が加害者にも被害者にもなったアジア・太平洋戦争。あの戦争を経験し、当時の記憶を直接語る人々の数はどんどん減っています。宿題として塾生は「アジア・太平洋戦争と日本」と「戦後の国際社会と日本」に関する本をそれぞれ1冊ずつ自分で選び、読むことができます。

グローバル化・情報化が進む現代、政府が主導する国家間の協力だけでなく、市民間の協力や支援がこれまで以上に大きな意味を持ってきました。塾生には柔軟な発想で国際的な平和構築に向けた方策を導き引き出してもらいます。

【スケジュール】

- *7クラス（1クラス20人）に分かれて2週間かけて議論（カリキュラム参照）
（協賛企業などから派遣のクラス担任と大学生のボランティアがサポート）
- *8月5日16時—18時 九州・山口に滞在の高校・大学留学生と議論
（ミャンマーからの立命館アジア太平洋大学生による発表後7クラスで議論）
- *8月6日9時半から約3時間 最終発表、投票して最優秀賞など決定
- *8月7日10時半 マハティール元首相の前で発表
11時—12時半 マハティール元首相講義と質疑応答

第19回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 139名 19都道府県+1か国(アメリカ)

○参画道・県・市推薦枠 109名

	都道府県	人数
1	北海道	11 名
2	青森県	11 名
3	岩手県	8 名
4	静岡県	8 名
5	岐阜県	6 名
6	和歌山県	11 名
7	愛媛県	10 名
8	福岡県	22 名
9	宗像市	6 名
10	佐賀県	14 名
11	うるま市	2 名
	計	109 名

○一般公募枠 30名

	都道府県	人数
1	宮城県	1 名
2	山形県	1 名
3	埼玉県	2 名
4	東京都	7 名
5	神奈川県	3 名
6	愛知県	2 名
7	和歌山県	1 名
8	兵庫県	1 名
9	島根県	1 名
10	香川県	2 名
11	愛媛県	1 名
12	福岡県	7 名
13	海外	1 名
	計	30 名

第19回日本の次世代リーダー養成塾 塾生高校一覧

19都道県+1ヶ国（アメリカ） 95校

学校所在地	学校名
北海道	北海道登別明日中等教育学校
	北海道幕別清陵高等学校
	私立立命館慶祥高等学校
	私立札幌聖心女子学院高等学校
	私立北星学園女子中学高等学校
	私立遺愛女子高等学校
青森県	青森県立田名部高等学校
	青森県立青森高等学校
	青森県立大湊高等学校
	青森県立三本木高等学校
	青森県立七戸高等学校
	青森県立八戸高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
	私立八戸工業大学第二高等学校
岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校
	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立福岡高等学校
	岩手県立宮古高等学校
	岩手県立盛岡第二高等学校
宮城県	宮城県佐沼高等学校
山形県	山形県立寒河江高等学校
埼玉県	埼玉県立所沢高等学校
	私立西武学園文理高等学校
東京都	東京都立富士高等学校
	私立光塩女子学院高等科
	私立国際基督教大学高等学校
	私立渋谷教育学園渋谷高校
	私立東京都市大学等々力高等学校
	国立東京工業高等専門学校
神奈川県	私立洗足学園高等学校
静岡県	静岡県立焼津水産高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
	静岡県立浜松北高等学校
	私立静岡雙葉高等学校
	私立静岡サレジオ高等学校
	私立不二聖心女子学院高等学校
岐阜県	岐阜県立可児高等学校
	岐阜県立岐阜各務野高等学校
	岐阜県立多治見北高等学校
	岐阜市立岐阜商業高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立麗澤瑞浪高等学校
愛知県	愛知県立岡崎高等学校
	私立海陽中等教育学校
和歌山県	和歌山県立向陽高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
	私立開智高等学校
	私立近畿大学附属和歌山高等学校
	私立和歌山信愛高等学校

学校所在地	学校名
兵庫県	私立三田学園高等学校
島根県	島根県立津和野高等学校
香川県	香川県立高松高等学校
	私立大手前高松高等学校
愛媛県	愛媛県立長浜高等学校
	愛媛県立三崎高等学校
	愛媛県立南宇和高等学校
	愛媛県立松山西中等教育学校
	愛媛県立八幡浜高等学校
	愛媛県立今治東中等教育学校
	愛媛県立松山南高等学校
	愛媛県立松山東高等学校
私立愛光高等学校	
福岡県	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	福岡県立中間高等学校
	福岡県立筑前高等学校
	福岡県立早良高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立小倉工業高等学校
	福岡県立修猷館高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立久留米高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡市立福翔高等学校
	私立明治学園高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
	私立福岡第一高等学校
	私立中村学園女子高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
私立福岡女子商業高等学校	
私立福岡工業大学附属城東高等学校	
私立筑陽学園高等学校	
私立東海大学付属福岡高等学校	
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立佐賀北高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
私立弘学館高等学校	
沖縄県	沖縄県立開邦高等学校
	沖縄県立コザ高等学校
海外	ハノーバー高校

主催者からのメッセージ

十倉雅和 塾長（一般社団法人日本経済団体連合会会長）



コロナ禍の中、今、世界は行き過ぎた資本主義による格差の拡大、地球温暖化による生態系の破壊、保護主義やポピュリズムの台頭による地政学リスクの高まり、民主主義の危機など、多くの問題が顕在化しています。こうした経済や社会の状況を受け、持続可能な資本主義への期待が高まっています。私は、市場経済の中に社会性の視点を入れる「ソーシャル・ポイント・オブ・ビュー」が大切であると考えています。

自国だけで対応することのできない地球温暖化、パンデミックに代表される生態系の破壊、人類が制御できなくなる恐れのあるAIなどのデジタル技術に対して、今こそ、国際協調が急務です。コロナ後の時代、わが国は自由・民主主義・人権・法の支配といった価値観を共有できる国々との連携がこれまで以上に必要となります。

次世代のリーダーを目指す皆さんには、世界に目を向けて、地球環境問題など地球市民として解決しないとイケない課題に、切磋琢磨をして、高い志を持って、果敢にイノベティブに挑戦をしていただきたいと思います。まずは、塾で大いに学び、仲間と未来を語り、視野を広げ、たくましい若きリーダーとして、将来、世界を舞台に活躍されることを心から願っています。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	十倉 雅和／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／一般財団法人インド経済研究所理事長
筆頭理事	服部 誠太郎／福岡県知事
理事	浅野 史郎／土屋総研特別研究員・元宮城県知事
理事	麻生 渡／元全国知事会会長
（顧問兼務）	一般財団法人九州オープンイノベーションセンター最高顧問
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社特別顧問
理事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	鈴木 直道／北海道知事
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社名誉顧問
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長・創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社特別顧問
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	内村 芳郎／九州電力株式会社常務執行役員